五所川原

太宰治

青空文庫

叔母が五所川原にゐるので、小さい頃よく五所川原へ遊びに行きました。旭座の舞臺開きも見に行きました。小學校の三、四年生の頃だつたと思ひます。たしか友右衞門だつた筈です。梅の由兵衞に泣かされました。　舞臺を、その時、生れてはじめて見て、思はず立ち上つてしまつた程に驚きました。この旭座は、そののち間もなく火事を起し、全燒しました。その時の火焰が、金木から、はつきり見えました。映寫室から發火したといふ話でした。さうして、映畫見物の小學生が十人ほど燒死しました。映寫の技師が罪に問はれました。過失傷害致死とかいふ罪名でした。子供にも、どういふわけだか、その技師の罪名と運命を忘れる事が出來ませんでした。旭座といふ名前が「火」の字に關係があるから燒けたのだといふ噂も聞きました。二十年も前の事です。

七ツか、八ツの頃、五所川原の賑やかな通りを歩いて、どぶに落ちました。かなり深くて、水が顎のあたりまでありました。三尺ちかくあつたのかも知れません。夜でした。上から男の人が手を差し出してくれたのでそれにつかまりました。ひき上げられて衆人環視の中で裸にされたので、實に困りました。ちやうど古着屋のまへでしたので、その店の古着を早速着せられました。女の子の浴衣でした。帶も、緑色の兵古帶でした。ひどく恥かしく思ひました。叔母が顔色を變へて走つて來ました。

私は叔母に可愛がられて育ちました。私は、男ツぷりが惡いので、何かと人にからかはれて、ひとりでひがんでゐましたが、叔母だけは、私を、いい男だと言つてくれました。他の人が、私の器量の惡口を言ふと、叔母は、本氣に怒りました。みんな遠い思ひ出になりました。

青空文庫情報

底本：「太宰治全集11」筑摩書房
　　1999（平成11）年3月25日初版第1刷発行
入力：小林繁雄
校正：阿部哲也
2011年10月12日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

五所川原

太宰治

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/